

エマニエル夫人 (1974)

EMMANUELLE

メディア 映画
ジャンル エロティック ロマン스
製作国 フランス
色彩 Color
時間 91分
初公開日 1974/12/21
公開情報 ヘラルド
リバイバル 1977/10 [ヘラルド]

【キャッチコピー】

唇に愛の華咲きほころばせ… 昼さがりの光にさえ肌を許す 背徳のおまえーエマニエル

さらに脱いでー 成人版エマニエル 衝撃のカムバック！ (リバイバル時)

【解説】

外交官の夫からバンコクに招かれた若妻エマニエルが、その開放的な異国情緒にほだされて性の真理を探ろうとする様子を描き、本国フランスはもとより日本でも大ヒットを記録したソフトコア・ポルノ。ファッション写真家として著名なJ・ジャカンが監督し、ソフト・フォーカスを基調としたその美しい映像と、エマニエルに扮したS・クリステルの初々しい魅力で、多くの女性ファンも獲得したが、なんてこたない、こりゃ単なる“旅の恥はカキすて”っていう内容です。もっともらしい雰囲気や、哲学的な台詞でごまかしてはみても、要するにレディース・コミックの先駆的作品と観た方が判りやすいでしょう。’77年に「成人版」が公開され、今では“ヘア解禁版”や“無修正版”でも観れるけれど、面白い作品では決してありません。

【クレジット】

| | | | |
|----|---------------|---------------------|--------|
| 監督 | ジュスト・ジャカン | Just Jaeckin | |
| 製作 | イヴ・ルッセール | Yves Rousset-Rouard | |
| 原作 | エマニエル・アルサン | Emmanuelle Arsan | |
| 脚本 | ジャン＝ルイ・リシャール | Jean-Louis Richard | |
| 撮影 | リシャール・スズキ | Richard Suzuki | |
| 編集 | クローディーヌ・ブーシェ | Claudine Bouché | |
| 音楽 | ピエール・バシュレ | Pierre Bachelet | |
| 出演 | シルヴィア・クリステル | Sylvia Kristel | エマニエル |
| | アラン・キューニ | Alain Cuny | マリオ |
| | クリスティーン・ボワッソン | Christine Boisson | マリアンジェ |
| | マリカ・グリーン | Marika Green | ビー |
| | ダニエル・サーキ | Daniel Sarky | ジャン |
| | ジャンヌ・コルタン | Jeanne Colletin | アリアンヌ |